



## ありあけ

2022(令和4)年  
6月1日(水)

## 自律型学習者を育成する

校長 前嶋 正秀

本校の学校説明会や見学会で、ご参加くださる受験生とその保護者の皆様に、私はいつもこんな意味のことを話しています。

「今の若者たちは、好むと好まざるに関わらず、いわゆる VUCA の時代 (Volatility=変動性、Uncertainty=不確実性、Complexity=複雑性、Ambiguity=曖昧性、の頭文字を取ったもの) と呼ばれる時代を生きていかなければなりません。このような時代を生きていくためには、自分から学び、自分で考え、行動できる力が何よりも求められます。このことから本校では、主体的、対話的で深い学びを多く取り入れることによって、自ら学びに向かう姿勢や、自分の考えを自分の言葉で相手に伝えられる力を養っています。これらの姿勢や力が、これからの先の見えない、不確かな時代を生き抜いていくための礎となるからです」

自分が常々こんなことを考えているせいなのかもしれませんが、とても感銘を受けた本があります。あの「教えない授業」の実践であまりにも有名な山本崇雄先生の著書ですが、山本先生は其中で、「現代社会には変化の波が押し寄せ、地球上には様々な問題がある、しかし、2015年に国連サミットで採択された SDGs (Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標) は世界を変える可能性を持っている、このような、問題にも可能性にもあふれている世界に子供を送り出す我々教員の(教育の)最上位の目標は、さまざまな課題に果敢に挑むことができる自律型学習者を育成していくこと」とはっきりおっしゃっています。自律型学習者は自ら課題を見つけ、時には協働しながら解決手段を選択し、自分なりの答えを出していくことができる、この能力はリアルな社会でも通用し、同時に SDGsの達成にもつながっていく、とも述べています。

まさにその通りだと思います。では生徒が自律的学習者になるために、私たち教員はどうあればいいのか。教師は teacher ではなく facilitator (または coach) たるべき、といったことが言われて久しいですが、こう言われているのは教師には宿命的に(?) 大なり小なり「教えたい」という気持ちがあるからだと思います。私たちはこの教えたい気持ちをできるだけ抑えて、生徒が学び方のプロセスや答えを自ら発見できるように導いていきたいものです。

## 5月のご報告

本校ホームページ「最新情報」ページをご覧ください。

【バスケットボール部】ある代の引退(2022年5月29日)

【中高サッカー部】活動報告

【中・高】体育祭!

【国際部】中3オナーズクラスの活動紹介

【高校新クラスの日常】第47号 新クラス2年生 新メンバー

他

\*今後の予定については、急な変更の可能性もありますので、学校からのメール連絡等をよくご確認ください。

次回は7/1(金)発行予定です。(広報部)